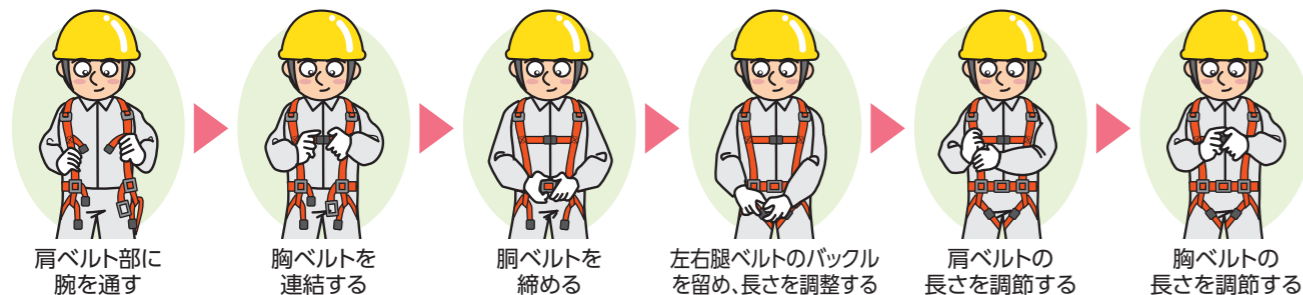


# 墜落制止用器具(フルハーネス型)について

参考:「正しく使おう フルハーネス」(厚生労働省) (<https://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/anzen/dl/170131-1.pdf>)を加工して作成

## 正しい装着方法(一例)

正しく装着しないと墜落したときの腹部の損傷が大きくなります。取扱説明書をしっかり読んで、手順にしたがって装着してください。



参考:「墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン」を公表します(厚生労働省) (<https://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000212834.html>)を加工して作成

## 点検のポイント

- ランヤードの摩耗、索線切れ、傷、焼け焦げ、変形、変色、硬化、溶解  
一年以上使用しているものについては、短い間隔で定期的に見視チェック
- アイ加工部とショックアブソーバの状態
- ベルトの摩耗、傷、ねじれ、変色、硬化、溶解  
工具ホルダーを取り付けている部分は定期的に摩耗をチェック
- 金具類の摩耗、亀裂、変形、サビ、腐食
- 樹脂コーティングの劣化
- 電気ショートによる溶融
- 回転部や摺動部の状態
- リベットやバネの状態
- 縫糸の摩耗、切断、ほつれ
- フックの近くが傷みやすいので念入りに点検

## 設備への取り付け

出来るだけ高い位置(肩より上)に取り付ける。



垂直構造物や斜材等に取り付ける場合、墜落制止時、ランヤードがずれたり、壊れたりしないようにする。



墜落時、振り子状態になり、激突しないような位置に取り付ける。



2月5日は笑顔の日です。「ニ(2)コ(5)ニコ」と読む語呂合わせからきています。笑顔になると、副交感神経が活発になりストレスを解消する効果や、NK細胞を活性化し免疫力が向上すると言われています。笑う人の方が傷の治りが早いというデータもあります。顔のエクササイズにもなるため美容にも効果的です。2月は「笑顔の日」にちなんで、楽しく笑顔で過ごしてみよう。



ホームページでも最新情報をお届けしています。是非ご覧ください。



レンタルのニッケン 検索 **メルマガ配信中!**

### 安全ニュースのご活用についてお願い

弊社は皆様の安全作業に関するよりよい情報を提供するため、安全ニュースの製作・配布に取り組んでおります。下記、ご理解いただき、ご活用いただけますようお願い致します。

- 安全ニュースの一部または全部において、個人・法人を問わず、弊社および引用先(各種団体など)の許諾を得ずに、いかなる方法においても、営利目的にて、無断で販売・複製・貸借・加工・加筆および、公衆送信(インターネットやそれに類した送信)などを利用して提供することを禁じております。
- 弊社は、本紙の内容において如何なる保証も行いません。
- 本紙内容にて発生した障害および事故についても、弊社は一切責任を負いません。

安全ニュースで取り上げて欲しい題材やご意見ご要望などがございましたらeメールをご活用ください

e-mail: [nikken@rental.co.jp](mailto:nikken@rental.co.jp)

公式 **Twitter** はじめました!!

フォロー宜しくお願ひします!

# 安全ニュース

● レンタルのニッケン - Safety News -

2022年  
2月号  
NO.  
**242**

株式会社レンタルのニッケン

編集・発行  
安全技術部 / 営業企画部  
お問い合わせ  
TEL.03-5512-7411  
発行日  
2022年2月1日



## 特集【三大災害】墜落・転落

- 建設業における死亡災害発生状況
- 墜落・転落災害防止のポイント
- 災害事例と対策
- 墜落制止用器具(フルハーネス型)について

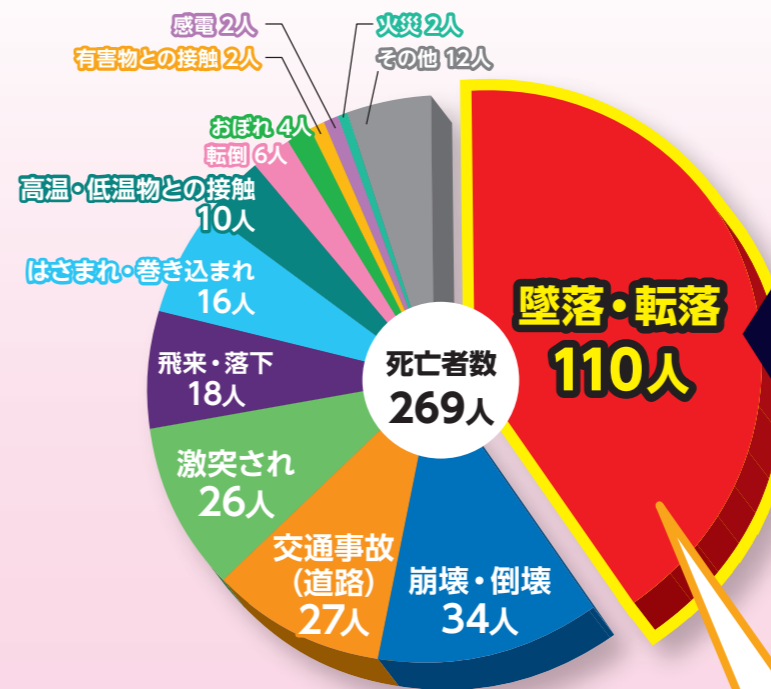
2022年  
3月号の予告

新規入場者

参考出典:建設業労働災害防止協会「令和3年度 建設業労働災害防止対策実施事項」建設業における労働災害の発生状況 事故の型別死亡災害発生状況、三大災害発生状況(墜落・転落災害) 参考:「労働災害統計」(厚生労働省) (<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/tok/anst00.htm>)を加工して作成

## 建設業における死亡災害発生状況

下のグラフは、2019年の建設業における死亡災害発生状況です。「墜落・転落災害」の死者数は110人と前年より26人減少しているものの、全体の約4割と依然として事故の型別では一番多く発生しており、高所作業中の安全対策の徹底が急務となっています。



## 【事故の型別】死亡災害発生状況

全体の約4割

「墜落・転落」は依然として事故の型別では最多!!

墜落・転落災害は重篤な災害に繋がりやすいため、中面の「災害事例と対策」「墜落・転落災害防止のポイント」を参考に災害の防止に取り組みましょう。

## 墜落・転落による死亡災害の発生状況

### ◆ 起因物別



### ◆ 工事の種類別



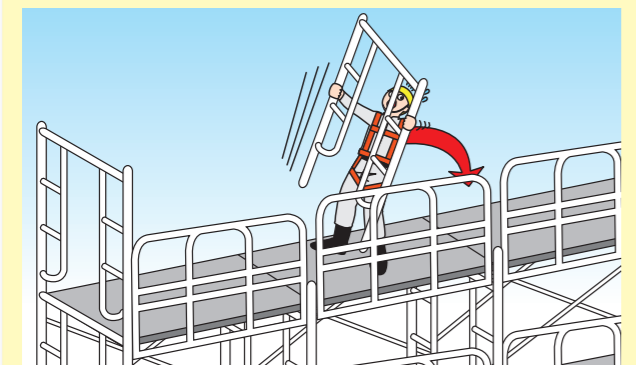
★ ホームページにも掲載しております!是非ご覧ください。★



# 災害事例と対策

参考出典:令和元年度 厚生労働省委託事業 建設業労働災害防止協会「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に係る建設需要に対応した労働災害防止対策事業」災害事例

## 手すり先行足場の組立作業中に墜落

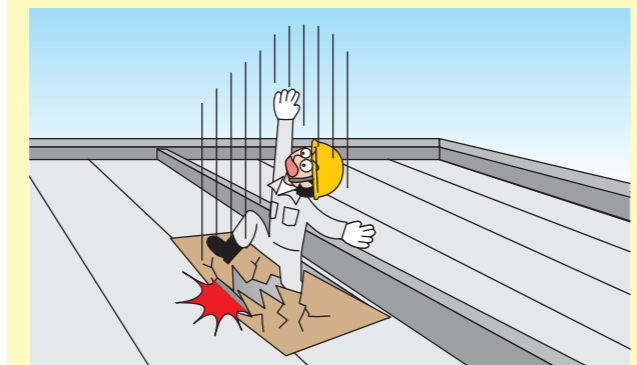


**原因**  
 ① 墜落制止用具取り付け設備がなかった。  
 ② 作業計画、作業手順が徹底されていなかった。

**対策(一例)**

- ◆ 先行手すりと共に、先行親綱支柱を立て親綱を先行設置する。
- ◆ 作業計画、作業手順の見直しを行い、作業の周知漏れが無いよう確認を確実にを行う。

## 開口部に敷かれていたベニヤ板を踏み抜き墜落



**原因**  
 ① 開口部に覆い、手すり等の墜落防止設備がなかった。  
 ② 作業計画や作業手順に不備があった。

**対策(一例)**

- ◆ 開口部発生前に周囲に手すりを先行して設置する。発生後は鉄板等で覆う。
- ◆ 開口部養生手すりを先行させる作業計画や作業手順を定める。

## 可搬式作業台を使用して作業中、天板部から墜落

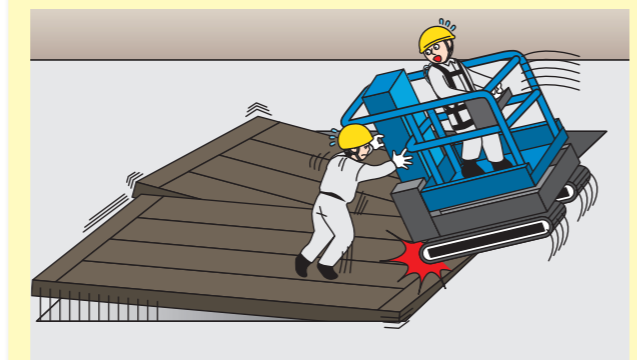


**原因**  
 ① 可搬式作業台が作業の中心に設置されていなかった。  
 ② 前工程の他業者の資材、残材が整頓されていなかった。

**対策(一例)**

- ◆ 可搬式作業台の中心部で作業ができるように位置を調整する。
- ◆ 作業前に現地を確認し、KY実施時に支障物を撤去する。

## 開口部で高所作業車とともに墜落



**原因**  
 ① 危険箇所に立ち入った。  
 ② 進入防止設備が設置されていなかった。

**対策(一例)**

- ◆ 進入防止柵を設置する。
- ◆ 高所作業車の立入禁止エリアを明確に表示する。

# 墜落・転落災害防止のポイント

参考:「はしごや脚立からの墜落・転落災害をなくしましょう!」(東京労働局) ([https://site.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/jirei\\_toukei/pamphlet\\_leaflet/anzen\\_eisei/\\_123512.html](https://site.mhlw.go.jp/tokyo-roudoukyoku/jirei_toukei/pamphlet_leaflet/anzen_eisei/_123512.html))を加工して作成。

## 必ずヘルメットを着用する

### ヘルメットの着用ポイント

- 「墜落時保護用」を使用 **重要**
- 傾けずに被る
- あご紐を確実に締める **重要**
- 破損したものは使わない
- 耐用年数を守る



## はしごや脚立を使う前にまず検討

### 検討する内容

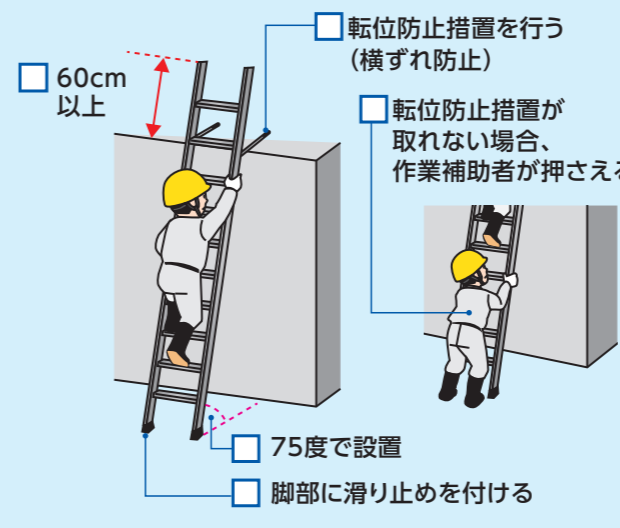
- はしごや脚立の使用自体を避けられないか?
- 墜落の危険性が相対的に低い、移動式足場、可搬式作業台、手すり付脚立、高所作業車等に変更できないか?

**十分に検討して他の対策が取れない場合に限り、はしごや脚立を注意して使用**

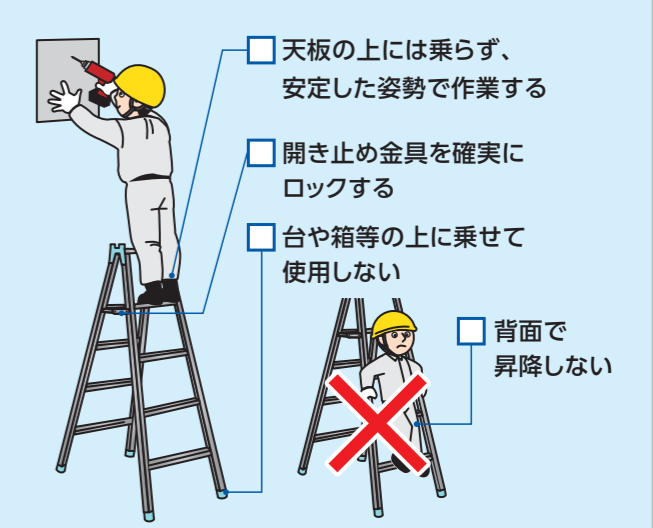
## 足場の安全ポイント

参考:「安全サポートマニュアル」(国土交通省 中部地方整備局) ([https://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/kensetsugijutsu/anzen\\_support/index.htm](https://www.cbr.mlit.go.jp/architecture/kensetsugijutsu/anzen_support/index.htm))等を加工して作成。

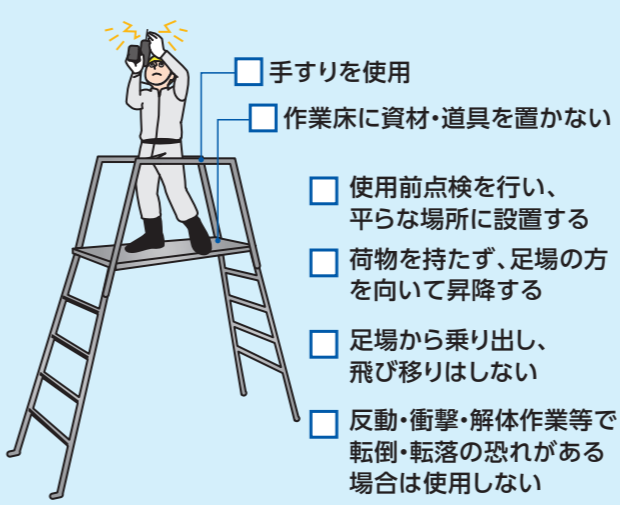
### 移動はしご



### 脚立



### 足場台(可搬式作業台)



### 枠組足場

